

□利用実証提案書
■利用実証計画書

平成26年 11月20日 Ver.1.0

テーマ	無人機への利用の有効性に関する実証	
実証参加機関 (共同機関)	ヤマハ発動機株式会社、産業技術総合研究所	
目的	サブメータ級およびセンチメータ級測位データが無人機を飛行させるにあたり十分な精度があり、利用可能かを見極める	
期間	全体	2015年1月～ 2015年3月
	時間・頻度	場所を変更し、3～5回程度実施
実施場所	<ul style="list-style-type: none"> ●地名: 静岡県、オーストラリア ●環境: 圃場、テスト場、飛行場など ●その他: 	
構成 ※必要に応じて構成図等を次ページ以降に添付	別紙参照	
内容 ※必要に応じて次ページ以降に添付	<ul style="list-style-type: none"> ●実証概要 無人ヘリで用いているRTK デファレンシャルGPSとセンチメータ級測位システムからのデータを 停止状態および移動状態(～30km/h)まで比較する ●実証の確認及び評価(利用効果の定量的評価方法) ・移動ルート of データを取得し、測位精度の比較をする。 ●確認時期 ・実証終了後に解析を行う。 	
受信信号	<ul style="list-style-type: none"> ●使用する測位信号名を記載 ・QZS: LEX(CMAS) QZ1またはQZNAV 	
受信設備	<ul style="list-style-type: none"> ●使用する測位信号受信機などを記載 ■貸与品目/数(LEX(CMASS)対応受信機 / 1台) □持込品目/数(/) 	
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> ●測位結果確認ソフトウェア □ソフトウェア名称/概要 時間と緯度、経度、高度、速度などを比較できるソフトを作成予定 	
実証前の要求事項		
実証時の要求事項		
実証後の要求事項		
その他		

別紙

